

## 災害時・救急の医療連携

## ～災害時・救急の課題について～

現状・課題	ご議論いただきたい視点
<p>&lt;災害時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多摩市では、各地域別に、災害時の医療体制が確保されている。</li> </ul> <p>&lt;救急&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本医科大学多摩永山病院では、高度急性期・急性期病床を有し、三次救急医療施設の認定を受けている。二次救急医療施設は、同病院及び東京都保健医療公社多摩南部地域病院が認定を受けている。</li> <li>○ 救急搬送の現状は、多摩市内の救急搬送事案のうち、約3分の2の67%は、南多摩保健医療圏域で受け止められているが、約3分の1の33%は、南多摩保健医療圏域外に搬送されている。</li> <li>○ 2045年の医療需要の推計では、循環器系の疾患が34.2%増加することが見込まれ、救急医療の需要はますます増える。</li> <li>○ 救急搬送された患者の経過は多様である。</li> </ul>	<p>&lt;災害時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、災害が頻発し、かつその規模も大きくなっていることを踏まえ、停電や断水などインフラが機能しなくなる場合を想定した体制がとられているか。</li> </ul> <p>&lt;救急&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市（多摩市を含む南多摩保健医療圏域）の救急医療の需要がさらに増えることが見込まれる中で、救急医療の拡充が必要ではないか。</li> <li>・現状、救急搬送された患者の転院・退院（在宅）の流れはスムーズに行われているか。</li> </ul>